静岡 ユースサッカー
THE YOUTH SOCCER
1月13日土曜日
昭和48年（1973年）
発行所
静岡県清水市サッカー協会
発行人　協会理事長堀田哲爾
編集人　サッカーニュース社
二本木一夫
清水市住吉町9－6
電話　(0543)67－1970(清水ゴール)
編集専用電話66－5282(代)

PEPSI

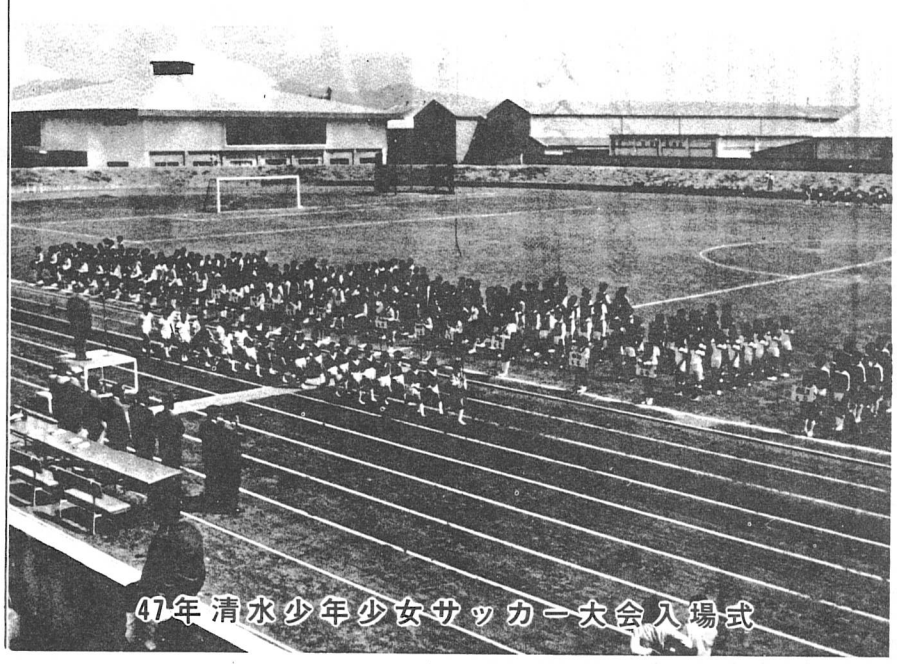
清水JC大会いよいよ開幕！

百三十チームが堂々参加！
日本一の大会規模

四十八年度新春をかざる清水市少年少女サッカー大会は一月十四日十五日二十一日の三日間で行なわれるが、参加チームは昨年より十チーム増の百三十チーム。

主催者の清水青年会議所もあまりの多い参加チームにびっくりしている。大会運営には清水商業高校サッカー部の全面協力をあおぎ、新しい社会体育のたての確立としても注目されている。

なお総合優勝チームには佐藤虎次郎市長杯が贈られることになっている。また二十一日の決勝大会においては例年行なわれるJC会員対少年チームの模範？試合も行なわれる。現在各チーム、最後の調整に入っているが、その予想をさぐってみたい。


47年清水少年少女サッカー大会入場式

【女子ジュニアー】

女子サッカーどころの興津と庵原の一騎打ちも女子チームの参加をあきらめ、ジュニアーと五年のタイトルを取りたいと願っている部Bと対戦するがこれに勝つと準決勝までは楽であろう。

ほかに袖師、蒲原東、和田島、庵原の六チームに西河内、由比、辻、和田島、庵原の六チームに西河内、由比、辻、入江の三チームとの調整に期待したい。

大物ぐいの小島は小花コーチにきたえられ二回戦で西河内と対戦するが、これに勝つとおもしろい。辻の鈴木石根コーチも女子チームの参加では非常に楽であろう。

和田島は一回戦は高部Bと対戦するがこれに勝つと準決勝までは楽であろう。

有一、庵原も四年生のセンスのよいプレーヤーがおり、特に有一中島コーチのこれからの調整に期待したい。

大物ぐいの小島は小花コーチにきたえられ二回戦で西河内と対戦するが、これに勝つとおもしろい。

和田島は一回戦は高部Bと対戦するがこれに勝つと準決勝までは楽であろう。

ほかに袖師、蒲原東、和田島、庵原の六チームに西河内、由比、辻、入江の三チームとの調整に期待したい。なおこのチームは三年後の代表チームの予想も考えられ、この種別に力を入れだした指導者に敬意をはらいたい。

【女子ジュニアー】

女子サッカーどころの興津と庵原の一騎打ちも女子チームの参加をあきらめ、ジュニアーと五年のタイトルを取りたいと願っている部Bと対戦するがこれに勝つと準決勝までは楽であろう。

ほかに袖師、蒲原東、和田島、庵原の六チームに西河内、由比、辻、入江の三チームとの調整に期待したい。なおこのチームは三年後の代表チームの予想も考えられ、この種別に力を入れだした指導者に敬意をはらいたい。

【女子】

十五チーム参加でおそらく興津と中河内の対決となろう。万一それを敗るとしたら不二見のパワーと、飯田FAのうまみしかない。

他に庵原、入江も決勝進出をねらっているが、この種別ほど予想がむずかしいところはないが、まず今年はばんくるわせはないだろう。

【少年五年】

二十五チームの参加で、ズバリ辻と飯田であろう。雨天の中での市民王座では2対0と完敗したファイターズがどうまきかえすかが一つの焦点である。押見コーチの力に期待したい。

辻は大物バックの遠藤と影山、大勝、岩石のフォードコンビで決勝までに何点とるかが楽しみ。

女子は興津か中河内

一方のファイターズは遠藤、高田を中心としたチームワークのチーム、個人技か、チームプレーかの決勝となろう。いいグランド条件で勝負をつけさせたい。

ダークホースは有一があげられる。また新しく参加する駒越、岡田、浜田にも期待したい。

浜田、岡地区には市会議員の中沢通則氏や清商後援会の山岸氏のような強力なバックアップがあるにもかかわらず、今まで育たなかったが、今回岡では山岸氏、鈴木正美氏が、浜田では内田氏が、青島氏が代表となって初参加することは意議深いことである。

また駒越の飯田氏もむずかしい社会体育の中で一人奮戦してくれることはありがたいことである。

六年生は二十七チーム
大熱戦が期待される

【少年六年】

二十七チーム参加で県大会出場の有二、江尻、入江の三チームと辻、和田島、庵原の六チームに西河内、由比がからんでおもしろいゲームが展開されよう。その中でやはり今年度の全タイトルを取った江尻の力はあなどれない。

江尻は辻、和田島には弱いが入江、有二に特に強く、幸い決勝までにが手と合わず、まず決勝進出はまちがいなかろう。坪井、佐野がうまくなっておりバックのしめがあれば完全優勝もありうるであろう。

庵原、辻も県予選後や、後退ぎみであるが一発に強いものをもっている有二は森、小池のできまってしまうが、もう少しうまいサッカーをやってもらいたいところ。

西河内はエース岩崎の気の弱さが気にかかる。和田島はCF中山の試合前の不調によって左右するチーム。望月、柴山、のするどい動きに期待したい。

全般的にやや、力不足の感はあるがやはり最後のタイトル、各チーム最もここに力が入りよいゲームがみられるであろう。

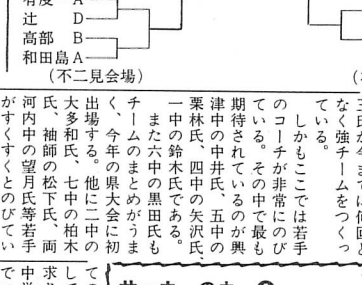
【中学一年】

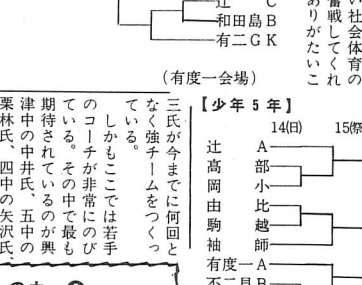
九チームが参加、昨年は八中の完全優勝であったが今年も強いであろう。一年ではやはり小学校での強さがそのまま残る場合が多くその意味から庵原と一中がそれに続くであろう。

【中学二年】

十二チームが参加。三中、五中、六中、八中の四チームが県大会に出場するが、おそらくそれらのチームの対決になろう。四中、一中がどのくらいそれにくいこむかである。また両河内もおもしろい。主力が一年生だけに今年力をつけておけば来年が楽しみ、望月コーチも力の入れがいがある。

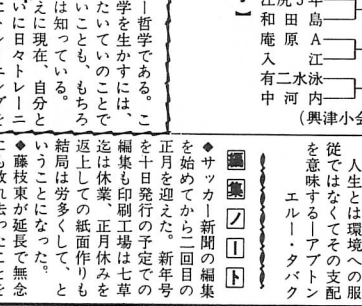
庵原、興津は今年は期待できなかったが、何とか一ふんばりしてもらいたいところ。

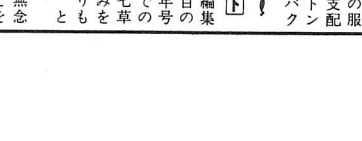

【少年ジュニアー】
（不二見会場）


（有度一会場）

【少年5年】
（入江小会場）

【少年6年】
（市営）


【中学1年】
（入江）（入江）（高部）（高部小会場）


【女子】
（興津小会場）

【中学2年】
（興津小会場）

静岡県中学校コーチの人脈をさぐる！

四十七年から改訂された新指導要領により中学校クラブが大きくゆらぎ、その中にある中学校の先生がたは必修クラブと部活動の両立のむずかしさが身にしみた一年であったと思う。

その中でも全国中学大会での藤枝中学の活躍、東海中学選手権での清水八中の優勝、これらの部活動が充分動けるようにするためには後援会組織やPTAの力もあるが、今回は中学のチームコーチの人脈をさぐってみることにする。

今年中学関係で最も明るいニュースは浜松勢の進出であり、県ベスト4に三チーム入ったこと。実にただ立派という以外ない。

その立役者が北星中学の本間昭氏であり、丸塚中学の高井英弘氏である。高台中学の八神英典氏を中心にまとまっている西部は、八幡中の松浦愛次郎氏、江西中学早坂徹郎氏等十年前の秋田国体優勝当時、県国体チームで活躍したつわ者が多い。今ここにその力がはっきり出てきている。

北浜中の大城氏、東部中の芹沢氏、西部の坂井笹司氏と中村両氏、南部の鈴木康介氏等も先輩としての意気で敗けじといっぱいの石上暲二氏がいる。また昨年の和木氏は静大時代その名を高めたサッカーマンである。

西部で行なわれたコーチングスクールにも多数の参加があったのもそのあらわれである。

若手のエースでは春野の伊達氏、中部の坂口氏、県大会での活躍では曳馬中の伊藤氏があげられよう。

中西部にきて小川中の望月孝夫氏がいる。現在県中学と中学生スポーツ少年団のまとめ役、技術指導にも理論的な裏づけがはっきりしている。

藤枝中学には若さがいっぱいの石上暲二氏がいる。また昨年の和歌山国体優勝のリングマンとしても有名な広幡中の滝本義三郎氏も選手づくりに定評がある。特に両氏はユースコーチングスクールでも優秀な成績であり、今後に期待できる。葉梨中学の青木精逸氏も西益津の黄金時代をつくった人で有名。彼に育てられた人が何人か日本リーグでも活躍している。

高洲中の式田氏も強いチームづくりをする人、大富中の興津氏、大井川中の成岡氏、川仕と情熱ですばらしいチームをつくっている。

安東中学の高塚氏、大里中の渡辺氏、東中学の成島氏、高松中の酒井氏は静大サッカーの強かりしころのエースであり、今は静岡市のまとめ役である。庵原の望月氏、三中の浄見氏、八中の小林氏の近藤猛之氏、静岡のまフットボールクラブの納谷宣雄、義郎氏兄弟等は社会人であるが奉

サッカーの虫 ⑤
サッカーの王子様

清水飯田ファイターズ
遠藤友則君

ぼくなにも心配な笑顔で下級生や女子ることないよ。なぜって……それは今のようにこれからもサッカーを続けるからさ。中学へ、大学を卒業したら全日本に入るんだもの……！とつぶらな瞳をパチパチしながら話す小さな紳士が全清水五年のキャップテン、飯田ファイターズのリーダー遠藤友則君である。日頃は人のよさそうサッカー哲学である。この哲学を生かすには、なみたいていのことではないことも、もちろん彼は知っている。

ゆえに現在、自分との戦いに日々トレーニングにトレーニングを重ねている。

この陰には仕事もそこそこに試合場へ現われる父親の晴男氏、遠藤家特別資本のスタミナ料理人、母親の千鶴子さん、そして庵原入江を破るチームメイトの暖かくすばらしい環境が隠れている。

来年のユースサッカーニュースには、ペレやアップされた『サッカーの王子様』が登場するだろう。

何年かたてば全日本の名簿にもこの四文字の活字がチェックされることも決して夢ではないだろう。

編集ノート

サッカー金言集 ⑤

一番多く理解している人は一番少なく批判する　―ゲイロード

私は会う人はだれでもある点で私よりすぐれている。私はいつもそれを学ぶ　―エマーソン

確実にシュートの成功をとり逃がす方法は機会をとりにがすことである　―チャールトン

人生とは環境への服従ではなくてその支配を意味する　―アプトン

◆サッカー新聞の編集を始めてから二回目の正月を迎えた。新年号を十日発行の予定での編集も印刷工場は七草迄は休業、正月休みを返上しての紙面作りも結局は労多くして、ということになった。

◆藤枝東が延長で無念にも敗れ去ったことを読者はとくにご承知だが、アマスポーツの勝敗は時の運だと慰められるものではないと語ってくれた友人の言葉が、なんとなく理解できるような気がするのだが……◆天皇杯、高校選手権そして二十八日の日立対オール静岡との招待試合、ささやかなサッカー新聞の紙面は掲載できない記事が山積みになることが予想される。寄せられた原稿が全部発表できないことを、投稿してくださった方々におわびすることが年頭のあいさつになるとは…。

（二本木）

謹賀新年
昭和48年　元旦
清水市サッカー協会
会長　作二茂厳治爾宏史肇文治根一
副会長　順裕　田沢川島藤哲　夫
〃　〃　〃　間博康啓石喜
理事長　畑山地米月木沢
副理事長　田水
〃　人生部長
〃　会校学学長
社高中小イター部部部部長長長長
ユースサッカー編集部　一本木二

47年度日本サッカーのあしあと

ペレが日本に来て神技を見せたのが何よりのあしあとといえるが国内試合では日本リーグ最終日にヤンマーを抜いて逆転優勝を決めた日立は、走るサッカーを見事に結実させた。先日、東京で高橋監督に会ったとき〝うちのチームは目玉がないのが特徴です。チビでぶざいくなプレーヤーばかりですから〟と話されていたが、一年目は「バカのように走れ」二年目は「ボールを走らせよ」三年目に「頭を走らせよ」をモットーに、それぞれの段階でチームを着実に伸ばしてきたという事はチームカラーを知っての手腕に外ならないのである。

一月二十八日この新日立は永遠にサッカーの基本である『走る』ことの重要さを再認識させた技術戦術の進歩は大切だが、それに気をとられ基本をおろそかにしたらいけない」と評価している。

日立はまたリーグの不動の得点王、釜本（ヤンマー）にとってかわる新得点王松永といえるスターを生み出したのである。

一月二十八日この新スターと王者のチームを清水に迎え、そのゲームがみられることを幸いに思う。

▶全日本引退の話題をまいた杉山選手

第十回教職員サッカー大会 清水

功労賞に五十嵐氏等五名を表彰

清水市教職員サッカー大会も今年で十回目をむかえ正月十三日（土）一中グランドで多数の先生がたが自分をかえりみず、全力で奉仕して行なわれる。

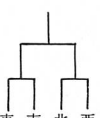
清水市が少年サッカーの町といわれるようになったのも、もちろん市長はじめ教育委員会の協力もあるが、何よりも大きなのは学校の先生がたが自分をかえりみず、全力で奉仕してたまものといってもいいすぎではない。

またこの大会がもたらした新しい人材の発掘も忘れることはできない。

十年目をむかえ、この大会に協力し、第一回より参加してくださった先輩の先生がたに感謝する記念大会として、五十嵐勇氏・興津小校長小池博夫氏・八中校長望月勲氏・有一小教諭古畑藤治氏・蒲原中学校長新村敬三氏・元袖師小教諭の五氏に功労賞をさしあげることになっている。なお大会組合わせとチーム編成は次のとおり。

【会場】
清水市立第一中学校

【組合わせ】



【チーム編成】

〈北部〉責任者 加藤剛重 小花公生
宍原 小河内 西河内 中河内 和田島 両中 小島中
興津中 興津小 小島小 清水東高

〈東部〉責任者 鈴木敏郎 鈴木石根
袖師小 庵原小 高部小 飯田小 辻小 庵原中 六中
袖師中 一中 江尻小 清水工業高校

〈西部〉責任者 浄見元昭 小島鋼雄
有一小 有二小 入江 岡 浜田 八中 七中 二中
三中 清水商業高校 清水西高

〈南部〉責任者 矢沢秀敏 斉藤和明
不二見 清水小 駒越小 三保一 三保二 四中 五中
清水南高 東海高 東海工高

県少年サッカー大会

熱戦くりひろげる地区大会

二月四日、十一日の両日、庵原郡三町で行なわれる第五回静岡県サッカースポーツ少年団大会の地区予選はいよいよ熱が入り、最後の三十二チームをめざして熱戦がくりかえされている。今回は各地区の予選の組合わせとその様子をさぐる。

【西部中学生少年団】十七チーム参加で現在、西部中南部、北星、南陽、が残りこの後はリーグ戦。

【西部小学生少年団】現在芳川少年団は代表権をもったが、あと一チームは十四チームの中から選出される。もちろん優勝チームだけが出場できる。

【中西部中学生少年団】十二チーム参加、代表は四チーム。西益津、藤枝は比較的楽な組合わせ。

【静岡小学校少年団】十七チーム参加で青葉、久能、城内、服織と四チームでリーグ戦三チーム出場。今のところ予想がつかない。

【静岡中学生少年団】十三チーム参加で付属、服織、大里、高松が有望であるが、静岡FCも安東も力をつけているので楽観はゆるされない。

【清水小学生少年団】和田島の負が決まり大ばんくるわせ。江尻、入江、有二の出場が決まる。入江は五年連続、江尻は二回目、有二の初出場となり特に有二後援会の力の入れかたはすごい。

【清水中学生少年団】三中、五中、六中、八中のうち三チーム出場、八中が特に強い。杉本、志田、栗田、けの鈴木も戦列に帰り今のところ敵なし。

【東部中学生少年団】八チーム参加はこれからの東部サッカーに明るいものを見せてくれている。

これは中学生支部長の平山氏や若手、高田氏の努力と、協会の加藤真久氏や黒石氏、秋山氏の熱意がみのってきたとみてよいだろう。

予想はまったくつかないが、吉原一中、または三中、大岡あたりではないだろう。

第二回県西部少年団リーグ

栄冠は芳川に輝く

九月十七日に開幕した西部少年リーグは、十一月十七日行なわれた決勝トーナメントの結果、芳川少年団が初優勝し県大会の出場権を獲得した。

昨年度は参加十チームだったが、本年度は十三チームにふえ、ウルトラ・ジャコビニの二つのリーグにわかれて五月から競い合った。十一月十七日には両リーグ上位二位までが集まり、決勝トーナメントを浜松市営和地山サッカー場で行なった。

決勝は昨年度優勝の庵原と、新鋭芳川との間で争われた。

前半、細かいパスワークにすぐれた庵原がリードしたが、後半は芳川バックスのクリヤーしたボールを佐藤のHC大澄がつぐしたボールをキープし、たびたびチャンスをつかんだ。那須野から佐藤バックスの裏へ山たボールを中津川野村のコンビで一点をとり、更に那須野―鈴木とパスがわたり得点を重ねた。

後半は佐藤の死力をつくした攻撃で一矢をむくいたが、時間切れで芳川の優勝が決まった。実に七十分にわたるフリーキックを小笠原がきめ同点とし、再延長にもつれこんだ。

再延長の前半五分で芳川のCH那須野が中盤でよくボールをキープし、たびたびチャンスをつかんだ。那須野から佐藤バックスの裏へ山たボールを中津川野村のコンビで一点をとり、更に那須野―鈴木とパスがわたり得点を重ねた。

後半は佐藤の死力をつくした攻撃で一矢をむくいたが、時間切れで芳川の優勝が決まった。実に七十分にわたるフリーキックを小笠原がきめ同点とし、再延長にもつれこんだ。

再延長の前半五分で芳川のCH那須野が中

▲西部リーグに優勝した芳川少年団チーム

敗者におくる詩

敗者のために乾杯

立ち上がって再び闘うことのできる人であるあなたが走ってても問題ではないもしあなたが全力を出しきったのならばあなたは勝ったのだもしあなたが自分の前に目標を持って試合にのぞんだならばたとえ他人が賞を得てもあなたはそれをかち得たのだとたとえ他人がボールに触れてもあなたが公正に正しく勝負したときあなたは一層偉大な闘いに勝ったのだ闘いを続けよそして試合をあきらめるな名誉ある二位は不名誉な一位に勝る敗者は他人に授けられた名声を引きおろす人になるなまちがえたからといって倒れた人に追い打ちのひと蹴りを与えるな自分は完全であり持ちあわせている唯一の大きさだと思うなそしていま一度どんなバカでも他人と積まれた中に静岡市サッカー協会事務所が集まってくる。

今年は城内少年団の岳南キッカーズの事務所になっている。しかしこのことにより自の宣延長もいそがしく動きまわっている。

サッカーの店訪問 ②

静岡ゴール

静岡市の中心地七間町に静岡サッカーの店義郎氏がはぐくんでいるのである。店は小さいが純粋の社会体育団体さいがサッカー用品がきょうもせまい店内に山と積まれた中に静岡県内のサッカー野郎が集まってくる。

今年は城内少年団の韓国遠征も計画されており、その連絡に店長がしばしば韓国へ行ったが、再び芳川はフリーキックを小笠原の反則から得た二十メートルのフリーキックを、小笠原がみごとにゴール左上すみに決めて同点とし、延長戦にはいった。

延長戦でも佐藤が先行したが、再び芳川はフリーキックを小笠原がきめ同点とし、再延長にもつれこんだ。

再延長の前半五分で芳川のCH那須野が中

初めての全国大会

各地でまかん

正月の朝元気にボールをけろうと恒例の初けり会が清水市各地で行なわれた。

一月一日は飯田小グランドで、ママファイターズ対パパファイターズの後援会内での対戦、今年で三回目になるが地区の青年団も入って午前中ボールをおいまわした。

当日山の和田島では五時から初試合とあって二年生から六年女子まで今年初の汗を流した。二日は清水東高と清水商業高の高校初蹴り会。杉山、高田、西、五年と六年の試合、統

ペレの国

ブラジルの話

中村祐介

十五年前にブラジルに渡り、永住した友人が、日本に来たついでに清水に立ちよりました。

サッカーの話をしたかった私は、ことばかりに本にのっていないペレの話、チームのなにかをしてくれる男、たよりになる、すべてを聞きだそうと心はずませ、時のたつのを忘れて楽しいサッカー談義をこころみました。だいたい次のようなことです。

ブラジルでは大統領よりも名前が通った、光り輝くペレをけなすと袋叩きのようにリンチされる。

ペレの国民全部よりすべての点で模範となり勇気づけてくれる、希望のアイドルと感じました。そしてチームのファンはクラブチームのある都市の出身者は（例サントス、フラミンゴ、コリンチヤンズ）その都市を離れて遠くに就職していても、会社の方から休んでも良いといわれ、すべて応援ということです。

うらやましいかぎりです。早く日本のサッカーファンもその様になりたいですね。

一番うれしかったのは、下町の酒屋で三人集まれば、一人が音頭をとりサンバのリズムで、おさらをたたきながらサッカーの話を続け、今年のペレはここが良い、もっとこうしてほしい、サントスチームは今年は優勝の望みがうすい、フラミンゴは前半はよかったが……こんな具合につきることなく楽しくゆかいに時間を過ごしているそうです。

考えただけでもウキウキ楽しくなりませんか。

ブラジルという国は本当にペレを中心としてサッカーが動いているのです。はやく日本もブラジルに追いつき楽しい話をしたいものですね。長かった時間が短かく感じました。

もっともっとくわしく書かなければいけませんが今回はこの辺で。

同日は小島少年団でも地区中心の大会がもたれ、それぞれの今年の活躍をちかい合っていた。

同じく中学生と連合青年団のゲームで地区あげての大会となった。

育ての親の小花氏、望月氏も招待されてのゲーム参加であった。

少年サッカーとチームプレー

小さなたたかい

少年サッカーは指導者の良い悪いで強くなったり弱くなったりすることが常識のようになっているが、もっと大切なことは強くてよいチーム、良い人間が育っているかを問題にすることではないだろうか。

「庵原には指導者が多くていいですね」

「十数年前、小学校で力を入れてくれたので、その子たちがみんな帰って来てくれたんでね豊も岩川もちょうじも保も……子どもの教えかたがうまくてね」

スクールマスターの話はつきない。

やっぱり昔やったことがムダでなかったですね。

ゆめからさめた私のそばにサッカーボールが一個ころがっていた。

▲ヘディングに集中する少女

初ゆめ

静岡サッカー界改造論 H生

日曜日、東名からぬけ清水インターを車は列をつくって庵原吉原方面に走る。ここにスポーツセンター『清水FC』がある。親子づれと若いカップルでクラブはいつもなごやかな笑いにうまる。大きなグランドではパパとママの試合。先週の試合は3対2でパパの勝きょうはどうしても勝つんだとママのはりきりよう。

レフリーも男性審判ではダメと女性ナンバーワンのレフリーでいよいよ試合がはじまる。

少年リーグの最終戦に来ている子どもも、自分の試合の練習をしないで今はじまろうとしているパパとママのゲームに応援、少年指導者がよびにきて大さわぎ。

きょうの試合は1対0でママチームの勝。

少年リーグの終わったら親子三人はクラブの中でこれから夕食、クラブハウスの中では今行なわれたパパとママの試合と、少年リーグの試合がビデオ・テレビに大きく写されている。

「あっママがころんだ、パパがけっとばしたね」と話しながらの食事。

シャワーに入るのも忘れて話に夢中、グランドではみどりの芝生が三万燭光の照明に照らされてナイターの試合、杉山杯の準決勝、三菱にいた杉山がいる袖師と、同じ三菱にいた高田のいる庵原との対決、二人とも年はとったがなかなかの腕前。庵原のバックに足のはやいのがいると思ったら西子選手だった。

✣各地区にクラブチーム

先週の日曜日に勝った庵原のチームの練習会、代表社会人チームは明日の決勝は有度地区と決まっているが、ライトの中で一生県命子どもを教えている。

高校生も、中学生も小学生もいる。スクールマスターは苫米地康文氏、元清商サッカーの育ての親、今は高校にはサッカー部はない。

「毎日どのくらいやるの？」

「そうですね、小学生は午後一時から三時まで、その後中学生でしょ、高校生、大学生、社会人は合同で五時から七時まで、月曜日は休みで、土日はナイターです。

雨が降ったらインドアーでやるんですよ。

インドアーはもちろん人工芝を植えてあるので外と何も変わらんですよ。」

「庵原には指導者が多くていいですね」

「十数年前、小学校で力を入れてくれたので、その子たちがみんな帰って来てくれたんでね豊も岩川もちょうじも保も……子どもの教えかたがうまくてね」

スクールマスターの話はつきない。

やっぱり昔やったことがムダでなかったですね。

ゆめからさめた私のそばにサッカーボールが一個ころがっていた。

▲先頭が筆者中村氏
清水市営グランドにて

PEPSI

ユースサッカーのお申込みは！
清水市内の方は、
住吉町九の六
清水ゴール
真砂町三番地
中島新聞舗
電話 66五二八二へ
お申込み下さい。お宅までお届け致します。